

高円宮杯第 77 回全日本中学校英語弁論大会茨城県大会開催要項

義務教育課

1 目的

本県中学校英語教育の振興を図るとともに、高円宮杯第 77 回全日本中学校英語弁論大会決勝予選大会（関東地区）に出場する代表を選出する。

なお、本県では、弁論部門のみ開催することとし、暗唱部門については、実施しないこととする。

2 主催

茨城県教育委員会、茨城県教育研究会、読売新聞社

3 日時

令和 7 年 9 月 29 日（月） 午前 9 時 30 分から午後 4 時まで

4 場所

茨城県教育研修センター

（所在地）笠間市平町 1410 TEL 0296-78-2121

5 日程

- (1) 開 会
- (2) 主催者あいさつ
- (3) 弁 論
- (4) 講 評
- (5) 表 彰
- (6) 閉 会

6 応募要領

(1) 参加資格（別添高円宮杯第 77 回全日本中学校英語弁論大会開催要項参照）

県内の中学校又はそれに相当する中学校に在籍する生徒で、学校長が推薦した者。

ただし、下記(a)～(d)に該当する者は参加できない。当該学校長は推薦の際、事実関係を確認の上、次の(a)～(d)に抵触しないことを証するものとする。

- (a) 満 5 歳の誕生日以後に、通算 1 年以上又は継続して 6 か月以上、英語圏(*)に居住した者。
- (b) 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む）に 6 か月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。
- (c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(*)出身の者がいる場合。
- (d) 過去に本大会の中央大会にて 1 位～3 位に入賞した者。

(*)「英語圏」とは、英語を（ア）第一言語、（イ）公用語、または（ウ）公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照のこと。

<https://jnsafund.org>

- (2) 上の条項に違反して出場した場合、失格とする。
- (3) 個別事案における参加資格の有無について、最終的な判断の権限は日本学生協会（J N S A）基金に帰属する。不明な点については、同基金高円宮杯事務局に問い合わせること。

(4) 申込方法等

○学校を通じて申し込む。

提出物	提出先及び締切日
①別紙1「大会参加申込書」1部 県大会・中央大会共通の申込書 学校長印を押印	①②<提出先住所> 〒310-8588 水戸市笠原町978番6 茨城県教育庁学校教育部義務教育課 高円宮杯弁論大会事務局
②弁論原稿 2部 A4サイズ片面1枚(手書き不可) 学校名・氏名・タイトルを記入 ※ 上記①・②は郵送	TEL 029-301-5226 <締切日> 令和7年9月8日(月) ※郵送は9月8日の消印有効
③別紙2「茨城県大会参加データ」 Excelデータ ※ PDF等に加工せず、電子データを送付	③<参加データ送付先> oshite.shouta@blue.ibk.ed.jp ※③参加データは茨城県教育研究会英語教育研究部事務局 (小美玉市立玉里学園義務教育学校 押手翔太教諭あて)に 送付する <電子データ送付締切日> 令和7年9月8日(月)16:00まで

※ 提出以降、テーマや原稿等の修正は受け付けないため、締切日までに十分確認して申し込むこと。

※ ①②と③の提出先が異なるので、留意すること。

7 弁論大会規程

(1) 論題 : 自由

弁論内容は、生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。ただし、今年度の高円宮杯関連大会で発表したものはこの限りではない。剽窃は、厳に禁止する。引用はそれと分かる表現により明示する。生成AIにより作成された弁論では応募できない。これらに違反した場合、失格とする。

(2) 制限時間 : 5分(超過した場合は減点とする)

(3) 審査方法

3つの観点(内容、英語力、表現)から審査する。特に内容を重視する。各審査員の採点合計を基に、順位を決定する。

(4) 留意事項

ア 参加人数は、各校1名とする。

イ 禁止事項:(a) マイクなど音声機器は使用しない。

(b) 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。

(c) 演壇の前及び横に出てスピーチすることは、原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむを得ない場合は考慮する。

(d) 上の、(a)、(b)、(c)の条項に違反した場合は審査委員の合議により減点対象となる場合がある。

(5) 表彰及び県代表者の選考

ア 第3位までの入賞者に茨城県教育委員会教育長賞を授与し、県代表として決勝予選大会(関東地区)の出場者として推薦する。

イ 第4位から第9位までの入賞者に読売新聞社水戸支局長賞を授与する。

ウ 上のア、イ以外の成績優秀者9人に茨城県教育研究会英語教育研究部長賞を授与する。

8 その他

(1) この大会が、生徒にとって英語で発表する貴重な機会となることから、各学校においては、生徒

に参加を促すよう努めること。

また、参加を希望する生徒に対しては、外国語指導助手等に協力を得ながら、計画的な指導を行うこと。

(2) 参加者及び引率者は、各自昼食を用意すること。

(3) 大会当日は、弁論の練習等で、会場以外の部屋に立ち入らないこと。

(4) 決勝予選大会及び決勝大会の開催日等については、次のとおりである。

なお、最新情報は、高円宮杯ホームページにて随時公開される。

ア 決勝予選大会

① 日時（関東地区は第1部）

第1部 令和7年11月26日（水） 午前9時30分～午後1時30分

② 会場

赤坂区民ホール（東京都港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティーぷらざ4階）

③ 参加資格

県大会で選ばれた代表3名

④ 参加範囲

第1部（関東地区）34校（6校選抜）

東京、神奈川、埼玉、茨城、栃木、千葉、群馬、長野、山梨、静岡

イ 決勝大会

① 日時

令和7年11月28日（金） 午前11時15分～午後3時15分

② 会場

よみうりホール（東京都千代田区有楽町1-11-1〔JR有楽町駅前 読売会館7階〕）

③ 参加資格

決勝予選大会で選抜された27名